

令和4年(2022年)11月1日発行

速報

第20回学生フォーミュラ日本大会

総合5位 / 省エネ賞3位

静岡県知事賞

日本自動車工業会会長賞

本大会において、本学フォーミュラ工場のチームが静岡県知事賞などを受賞。総合順位で全国69チーム中5位に入賞し過去最高の成績を取めた。8月下旬にオンラインで静的審査、9月6日から10日にかけて静岡の運動公園にて動的審査が実施され、目標の全種目完走・完走を成し遂げた。長年にわたり先輩から後輩へ受け継がれてきた技術と経験が成果となって現れてきた。



埼玉県

久喜市と包括連携協定



協定書を交わした成田学長(左)と梅田市長

久喜市は埼玉県東北部に位置し、本学埼玉キャンパスが所在する宮代町に隣接している。同市はSDGsの理念を踏まえ、誰一人取り残さない持続可能で魅力あるまちづくりを進めている。梅田市長は挨拶の中で「協働、協創の視点をもち、あらゆる関係者との緊密な連携のもと、提携先の知見やノウハウを活かしたまちづくりの推進に努めている。協定に基づいて、SDGsの視点を踏まえながら様々な取り組みを共働で行うことにより、地域社会の持続的な発展、市民サービスの向上が一層推進されると期待している」と述べた。これを受け成田学長は「今の時代、大学には研究、教育に次ぐ三本目の柱として社

活力ある個性豊かな地域社会の形成と発展を目指して 本学と埼玉県久喜市は10月3日、包括連携協定を締結した。相互に緊密な連携と協働を図ることにより、地域の課題に迅速かつ適切に対応し、活力ある個性豊かな地域社会の形成と発展に資することを目的としている。協定締結式は15時30分より同市役所において執り行われ、成田健一学長と梅田修一市長が協定書に署名した。 本学が目指す人間力育成に貢献するものと期待している。本学が進める様々な取り組みに関して、連携を通じて協力いただきたい」と求めた。 式後の懇談で成田学長は「理系大学である本学の強みを活かし、県が推進する『子ども大学』、シニア向け生涯学習、学生ボランティア活動など様々な分野で協力可能である」と梅田市長に伝え、具体的な取り組みについて意見交換を行った。 今後は協定に基づき、それぞれの持つリソースを有効に活用しながら、様々な事業を協力して進めていくことになる。

9月7日、川口信用金庫(埼玉県川口市)による寄附講座「創業の基礎」の贈呈式が埼玉キャンパスにおいて行われ、同金庫の木村幹雄理事長より成田健一学長へ目録が贈呈された。 本講座は創業や起業の基礎を学び、理解することを目的として毎年開催されており、今年で11年目となる。今年度は9月

創業の基礎を学ぶ 寄附講座贈呈式

27日から来年1月10日の毎週火曜日第3時限に全14講座が開講される。 本講座では同金庫職員や第一線の実業家が講師を務め、公的支援機関による創業施策、実際の起業家による自身の創業ストーリーといった活きた体験談などを紹介する。これに加えて、金融機関ならではの視点を盛り込むことで、将来の創業・新



木村理事長(右)より成田学長に目録が贈られた

事業企画等に役立つ実践的な知識の修得を目指す。 9月22日に行われた第1回目の授業には、合計23名の学生が参加した。授業に参加した学生からは「将来の起業のきっかけにしたい」、「社内プロジェクトの参考になれば」、「分野にとわれない、いろいろな専門家の話が聞けて面白かった」といった感想があった。これを受けて講師を務める同金庫の岸則行氏は「本年度も多彩な講師陣にご登壇いただき、楽しんで受講できるように頑張ります。引き続き、お申し込みを語ります」と意気込みを語った。

会貢献が求められている。様々な人たちが各自の得意分野で貢献しあう多職種連携という形で高齢化社会に対応していくことが必要だ」と強調。協定が果たす役割として「学生に実社会の中で専門力を活かす場を与え、本学が目指す人間力育成に貢献するものと期待している。本学が進める様々な取り組みに関して、連携を通じて協力いただきたい」と求めた。 式後の懇談で成田学長は「理系大学である本学の強みを活かし、県が推進する『子ども大学』、シニア向け生涯学習、学生ボランティア活動など様々な分野で協力可能である」と梅田市長に伝え、具体的な取り組みについて意見交換を行った。 今後は協定に基づき、それぞれの持つリソースを有効に活用しながら、様々な事業を協力して進めていくことになる。



試験体の製作



那須教授と打合せ



100円朝食で1日のスタート

滞在中は学友会館に宿泊し、学食や近隣の食堂などで学生たちと日本食を楽しむなど、異国での日常生活も楽しんでいった。帰国後ジョンさんは「研究室での時間は良い思い出となった。親切に受け入れていただいたうえ、大変貴重な体験ができた。感謝しています」とメッセージを寄せてくれた。 須教授指導のもと、研究室所属学生達の協力を得ながら木質構造の研究に励んだ。ジョンさんは日本の伝統的な木組みを応用した試験体を製作し、構造実験を行い研究成果をまとめた。 そして到着翌日から那須教授指導のもと、研究室所属学生達の協力を得ながら木質構造の研究に励んだ。ジョンさんは日本の伝統的な木組みを応用した試験体を製作し、構造実験を行い研究成果をまとめた。

スウェーデンから 特別研究員を受入

建築学科の那須秀行研究室は6月23日から8月11日までの50日間、日本学術振興会サマー・プログラム研究員としてジョン・アンデションさんを受け入れた。 ジョンさんはスウェーデン出身で、同国の大学院において建築

や工業デザインを学んだ。「日本の木造建築技術を理解して母国の現代建築に活用したい」との思いで2021年に同プログラムへ応募。コロナ禍の影響で来日が1年遅れたが、念願叶って外国人特別研究員として採用された。 そして到着翌日から那須教授指導のもと、研究室所属学生達の協力を得ながら木質構造の研究に励んだ。ジョンさんは日本の伝統的な木組みを応用した試験体を製作し、構造実験を行い研究成果をまとめた。

日本工業大学 2023年度入試日程

【基幹工学部】 機械工学科・電気電子通信工学科・応用化学科 【建築学部】 建築学科(建築コース/生活環境デザインコース) 【先進工学部】 ロボティクス学科・情報メディア工学科・データサイエンス学科

Table with columns for exam type (e.g., 一般選抜, 共通テスト利用), date, and details. It lists various exam dates and application periods for different departments.

※ 全ての入試において、インターネットからの出願です。本学HPからアクセスしてください。 ※ 各入試の詳細は、それぞれの「募集要項」を確認してください。

皆さんのチャレンジをお待ちしています。

【学校推薦型選抜(公募制)】

<第1期> 出願期間: 11/1(火)~11/14(月) web受付開始日10/24(月) 試験日と試験会場: 11/19(土)本学 合格発表日: 12/1(木) <第2期> 出願期間: 12/1(木)~12/8(木) web受付開始日11/21(月) 試験日と試験会場: 12/17(土)本学 合格発表日: 12/23(金)

入試に関する説明や対策講座(動画)をWEBオープンキャンパスに掲載しています!

お問い合わせ先 入試課 電話: 0120-250-267



日本工業大学大学院 社会人特別選抜

◆大学院工学研究科 (博士前期課程・博士後期課程)

■2023年度 入試日程

Table with columns for exam stage (二次募集), date, and details. It shows the application period, interview date, and exam date.

お問い合わせ先: 教務部教務課 大学院入試係

TEL 0480-33-7507

URL https://www.nit.ac.jp

第36回日本工業大学建築設計競技

全国から48校169作品

「その土地に 開いて／閉じる ワンルーム」

【審査委員長の講話】

とかく設計というのは、設計条件が緩ければ緩いほど“良いもの”になり、くいと実は思っています。条件が厳しければ厳しいほど、設計者はなんとか解決しようと頑張って最後には“これしかない”という確信を持つようになるのですが、今回の課題のように敷地も自由、家族構成も自由ですと、なかなか決めきれないものです。条件はといえば“ワンルーム”だけで、“開く／閉じる”という建築の根源的で単純な操作だけで住宅を設計する課題です。応募者によっては条件設定の迷路に迷い込んでしまう危惧もありました。しかし、そもそも住宅での人の行動は、住まい手に委ねられることが多いのと、制約も元々緩いので、この課題は無数の回答と良い案が生まれる可能性が高いのではないかと密かに期待していました。

“開く”と“閉じる”は、言葉としては全く反対のことですが、建築においては、グラデーション状につながってくる事象です。言い換えれば、時に相反することを一つの考えで同時に解決しなければならぬ建築の宿命も背負っています。言葉では矛盾しますが“開いているが、閉じている”状態も建築では可能です。総じて、入賞した各案は、主題に沿って理想的な“開／閉”をもった建築のあるべき姿を真っ直ぐに追い求めていました。その理想型に合わせて、逆算して、敷地や家族構成等の建築条件を丁寧に設定していったのではないかと考えられます。

今回の“開く”と“閉じる”という課題は、実は住宅に限定されず、全ての建築の根底にあるものです。皆さんが今後建築を考えていく上で、この課題が将来に多少でも有益であったことを期待しています。

安田幸一（東京工業大学大学院教授・安田アトリエ主宰）



1等作品

入賞者

○印は共同作品の代表者

| 審査結果 | 氏名 | 学校名 | 審査結果 | 氏名 | 学校名 |
|----------------|-----------------|-------------------|-------------|-------|--|
| 1等 | 鈴木 陽天 | 富山県立富山工業高等学校 | 奨励賞 | 岡村 咲奈 | 愛知県立一宮工科高等学校 |
| 2等 | ○松崎 愛琉 生田 羽月 | 茨城県立つくば工科高等学校 | 奨励賞 | 矢高 優我 | 埼玉県立熊谷工業高等学校 |
| 3等 | 大前 春喜 | 三重県立四日市工業高等学校 | 奨励賞 | 村地 伸理 | 滋賀県立彦根工業高等学校 |
| 審査員賞 (安田幸一) | 笠原 唯良 | 群馬県立桐生工業高等学校 | 奨励賞 | 中川 紗那 | 明石工業高等専門学校 |
| 審査員賞 (小川次郎) | 和田 羽主 | 静岡県立浜松工業高等学校 | 奨励賞 | 石原 綾乃 | 兵庫県立龍野北高等学校 |
| 審査員賞 (吉村英孝) | 山本 莉玖 | 滋賀県立彦根工業高等学校 | 奨励賞 | 八木 星輝 | 兵庫県立龍野北高等学校 |
| 佳作 | 長野 晏大 | 明石工業高等専門学校 | 奨励賞 | 横林 寛大 | 兵庫県立龍野北高等学校 |
| 佳作 | 的場 貴鈴 | 大阪府立工芸高等学校 | 奨励賞 | 伊藤 舞 | 岡山県立津山工業高等学校 |
| 佳作 | 白土 裕貴 | 福島県立勿来工業高等学校 | 奨励賞 | 柴田 葛花 | 岡山県立津山工業高等学校 |
| 佳作 | 窪田 集 | 富山県立高岡工業高等学校 | 奨励賞 | 武村 颯音 | 岡山県立津山工業高等学校 |
| 佳作 | 後藤 奈々美 | 大分県立鶴崎工業高等学校 | 奨励賞 | 藤原 日向 | 大阪府立工芸高等学校 |
| 佳作 | 市川 碧海 | 静岡県立科学技術高等学校 | 奨励賞 | 橋田 光希 | 神戸市立科学技術高等学校 |
| 佳作 | 佐々木 汐 | 兵庫県立兵庫工業高等学校 | 奨励賞 | 八島 翔 | 福島県立福島工業高等学校 |
| 佳作 | 対馬 直樹 | 北海道苫小牧工業高等学校（定時制） | 奨励賞 | 菅島 琴美 | 福島県立勿来工業高等学校 |
| 奨励賞 | 高坂 愛那 | 仙台市立仙台工業高等学校 | 奨励賞 | 上原 玲奈 | 東京工業大学附属科学技術高等学校 |
| | | | 奨励学校賞※応募多数校 | | 福島県立勿来工業高等学校 大阪府立工芸高等学校 福島県立福島工業高等学校 岡山県立津山工業高等学校 |

サプライチェーンの冗長性

専門職大学院だより

大学院技術経営研究科・教授 五十嵐 博一

物流業界では、コロナ禍で輸送用コンテナの供給が不足し、世界的に混乱しました。混乱の余波はまだ続いています。

世界中の物流現場で使われる輸送用コンテナの9割以上は、中国で生産されています。中国で生産されるコンテナは、中国で生産されるコンテナと同じように考えられます。

一般的には、「冗長」という言葉は、「おまえの話が冗長だ」と、無駄やダブりがあるという悪い意味で使われますが、工学上では、システムのバックアップという良い意味で「冗長性」という言葉が

冗長性がなかったことが原因です。「冗長性」とは、供給や通信を二重化（複線化）して、ひとつの系統が故障した際に別の系統でバックアップできるようにするという考え方です。

信頼性を担保するために冗長性を確保するのは、工学の世界ではあたり前なのですが、冗長性を持たせるには、その分コストがかかります。実務上では経済性が優先され、冗長性が確保されな

使用されます。信頼性を担保するために冗長性を確保するのは、工学の世界ではあたり前なのですが、冗長性を持たせるには、その分コストがかかります。実務上では経済性が優先され、冗長性が確保されな

2021年度の日本貿易振興機構のアンケート調査によると、海外ビジネスを展開する日本企業の6割以上が、サプライチェーンの見直しを考慮していると言います。コロナ禍での経験を踏まえて、改善、改革を進めよ

要衝ですが、船が1列で航行する幅しかありません。道路で例えるなら車線です。一隻の座礁で航路が塞がれてしまえば、スエズ運河にも冗長性がありません。

最近では、スエズ運河の座礁リスクや高額な通行料が嫌われて、喜望峯をまわる航路を選択するケースも増えています。そもそも、喜望峯を通らないで済むようにスエズ運河が建設されたはずなのに、変な話ですね。

2021年度の日本貿易振興機構のアンケート調査によると、海外ビジネスを展開する日本企業の6割以上が、サプライチェーンの見直しを考慮していると言います。コロナ禍での経験を踏まえて、改善、改革を進めよ

専門職大学院オープンキャンパス

2022 12/10(土) 2023 1/21(土)

説明会、パネルディスカッション、模擬授業、キャンパスツアー等を実施予定

※状況により日程、内容を変更する場合があります

TEL. 03-3511-7591 mot@kanda.nit.ac.jp

学部3学年の学生は、学生生活の多くの期間がコロナ禍と重なり、部活動やサークル、アルバイトなどの様々な活動が制限された。そのために、企業に対して「アピールすることができない」「学生時代に力を入れたことがない」という不安の声が多く聞かれる。

しかし、企業が知りたいことの本当は、何かに課題を見出し、自ら動き（周りに働きかけ）、その結果として何がどう変わったか（変化したか）、ということである。華やかな成果や実績ではなくても、日々の生活の中で



企業の魅力を知るためのセミナーを開催

NIT SDGs PRESS

NSCWeekは本学の学生環境推進委員会（愛称：e-にこっと）と他大学の連携で主催するSDGs活動で、2年目を迎えた。事前の勉強会として「プラスチックリサイクルの現状」をテーマに新潟環境ネットワーク（N-econet）とリモート会議を実施。8/24に新潟の海岸と宮代町の河川で、それぞれ清掃活動を行い、8/26に実績報告会を兼ね、本学を会場に伴教授が、「海洋プラ

就職支援情報

取得組んだ小さなことで、必ず出席をして、少しでも多くの情報を入手することが望ましい。なお、企業の採用時期も多様化し、このセミナーを機に採用に動き出す企業も少なくない。早期選考を実施する企業に迅速に対応できるように、11月以降も「履歴書集中添削会」や「面接集中練習会」、「就職筆記対策講座」など、就職活動の基本となる講座を設けているので、積極的に出席して欲しい。

秋学期は就職活動準備の大切な時期

取得組んだ小さなことで、必ず出席をして、少しでも多くの情報を入手することが望ましい。なお、企業の採用時期も多様化し、このセミナーを機に採用に動き出す企業も少なくない。早期選考を実施する企業に迅速に対応できるように、11月以降も「履歴書集中添削会」や「面接集中練習会」、「就職筆記対策講座」など、就職活動の基本となる講座を設けているので、積極的に出席して欲しい。

取得組んだ小さなことで、必ず出席をして、少しでも多くの情報を入手することが望ましい。なお、企業の採用時期も多様化し、このセミナーを機に採用に動き出す企業も少なくない。早期選考を実施する企業に迅速に対応できるように、11月以降も「履歴書集中添削会」や「面接集中練習会」、「就職筆記対策講座」など、就職活動の基本となる講座を設けているので、積極的に出席して欲しい。

SDGs活動を通じた交流 NSCWeek

スチック問題」について講演し、マイクロプラスチックが与える次世代への影響について議論し、意義ある活動となった。

NITプロダクトデザインコンテスト2022

全国からユニークな110作品が揃った



3Dモデリング部門優秀賞 「SKY RUNNER（前川大輔）」



3Dモデリング部門優秀賞 「三輪で移動する収納ボール（井原光貴）」

10月30日（日）、本学でNITプロダクトデザインコンテスト2022の授賞式が行われた。今年度は国内だけでなく海外の高校生の参加もあり、オリジナルアイデア部門52作品、自由部門40作品、3Dモデリング部門14作品、3Dプリンター造形部門4作品の、計110作品が提出された。今年、アイデアで突出した

ものが見られなかったため、最優秀賞は該当なしであった。優秀賞は、オリジナルアイデア部門のHsu Tai君（サンディエゴWestview High School）、3Dモデリング部門の前川大輔君（島根県立松江工業高等学校）、井原光貴君（愛媛県立新居浜工業高等学校）の3名が受賞した。

審査結果

| 各賞 | 氏名 | 高校名 |
|-------------|------------|----------------------|
| オリジナルアイデア部門 | | |
| 優秀賞 | Hsu Tai | Westview High School |
| 特別賞 | 山田 野々花 | (非公開) |
| 佳作 | 星野 天空 | 茨城県立つくば工科高等学校 |
| 佳作 | 永江 陽彩 | 福岡県立八女工業高等学校 |
| 佳作 | 河村 有紗 | 静岡県立静岡高等学校 |
| 佳作 | 北川 大輔 | 茨城県立つくば工科高等学校 |
| 佳作 | 太田 大雅 | 島根県立松江工業高等学校 |
| 自由部門 | | |
| 特別賞 | 白石 迅人 ほか6名 | 香川県立多度津高等学校 |
| 佳作 | 桐野 葉流 | 東京都立工芸高等学校 |
| 佳作 | 三浦 慧大 | 宮城県気仙沼向洋高等学校 |
| 佳作 | 遠藤 稜太 | 福岡県立八女工業高等学校 |
| 佳作 | 小倉 沙祐 | 群馬県立伊勢崎工業高等学校 |

| 各賞 | 氏名 | 高校名 |
|------------|-----------------|---------------|
| 3Dモデリング部門 | | |
| 優秀賞 | 前川 大輔 | 島根県立松江工業高等学校 |
| 優秀賞 | 井原 光貴 | 愛媛県立新居浜工業高等学校 |
| 3Dプリンタ造形部門 | | |
| 佳作 | 日比野 真弥 山田 颯大 | 岐阜県立岐南工業高等学校 |
| 学校奨励賞 | | |
| | | 茨城県立つくば工科高等学校 |
| | | 岐阜第一高等学校 |
| | | 愛媛県立新居浜工業高等学校 |

食卓提供と工作教室

9月3日、無印良品東武動物公園駅前において本学、宮代町社会福祉協...



工作教室では教員や学生スタッフが指導にあたった

「ミニ空気砲を作ろう」「風船ロケットを飛ばそう」で、当日は70名を超え...

夏休みの子供向け体験教室

夏休み期間中、小中高の児童・生徒とその保護者を対象とした、各種のつくり体験教室が開催され、学部および共通教育学群の教員と...



化学・環境・バイオサイエンススクール



中学生科学教室



親子ものづくり教室



関東地区リフレッシュ理科教室

Table with 4 columns: イベント名称, 主な内容, 実施日, 参加数. Lists various summer workshop events.

身体や視線で操作するアート作品を体験



手で花火を開かせるアート

情報メディア工学科の新井啓之教授、山地秀美教授、フィジカルコン...



負傷者搬送訓練

防災訓練実施

8月31日、地震発生を想定した防災訓練が埼玉キャンパスにおいて実施...

第55期決算・第56期予算 日本工業大学の財務状況

はじめに 第55期決算、第56期予算が監査法人及び法人監事の監査を受け、法人理...

(別表1) 資金収支計算書. Table showing financial data for the 55th period.

(別表2) 事業活動収支計算書. Table showing operational activity financial data.

(別表4) 資金収支予算書. Table showing budgeted financial data.

(別表3) 貸借対照表. Table showing the balance sheet.

(別表5) 事業活動収支計算書の主要項目の分析表. Table analyzing main items of operational activity.

3つの活動に区分され、それぞれの区分毎に収支バランスを示すことにより、経営状態を明らかにした。また、翌年度はこれに引き続き女子学生用のパウダールームのリニューアルを予定している。...

(別表5) 事業活動収支計算書の主要項目の分析表 (continued). Table with 4 columns.

四・むすび コロナ禍の影響に翻弄された2年間、今年度より徐々にではありますが、以前の様な活気のあるキャンパスに戻りつつある。...

日本塑性加工学会 論文賞

機械工学科の瀧澤英男教授と古田総一郎さん(2021年3月大学院博士前期課程修了)が6月3日、日本塑性加工学会「論文賞」を受賞した。受賞した論文は、2021年9月号「塑性加工」に掲載された。

多孔板(パンチングメタル)という人工的な異方性に対して数値材料試験の可能性と高次異方性降伏関数による高い表現力を明示し、本分野の理解を深める上での好適な研究事例として評価された。



瀧澤教授は「2013年に本学に着任してから、数名の大学院生とともに取り組んできたテーマです。内容には派手さはありませんが地道な研究を評価していただけたい。今後とも丁寧な研究に注力していきます」と述べている。

日本建築家協会 審査委員長賞



建築学科建築コース(吉村研究室)を本年卒業した中山涼雅さんが6月18日、日本建築家協会(JIA)全国学生卒業設計コンクール公開審査会において「妹島審査委員長賞」を受賞した。

中山さんは、同じ地域に住みながら接することの少ない新旧の住民が、燻煙乾燥という食の調

理・加工を体験する場を集う仕組みを提案。生産者(旧住民)と消費者(新住民)が交流するきっかけづくりを目的とした。内外の曖昧な懐かしく新しい空間の魅力を提示したことが高く評価された。見過ごされてしまいそうな小さな産業遺産に目を向け、現代の暮らしのなかで役割を見出して再生し、それらが地域の風景をつくっていく、という時間や分野を横断する生態学的な建築観の広まりが期待されている。

型技術協会 奨励賞

機械システム工学専攻博士後期課程修了生(神研究室)のピラポン・カスリヤさんが6月23日、第32回型技術協会賞授賞式において「奨励賞」を受賞した。同賞は、型技術者会議および型技術ワークショップにおける総合的な優秀講演者、連名者に対して贈られる。

ピラポンさんは、この一連の研究で博士号を取得し、現在は母校のキングモンクット工科大学で教鞭をとっている。



を「加工を体験する場」に集う仕組みを提案。生産者(旧住民)と消費者(新住民)が交流するきっかけづくりを目的とした。内外の曖昧な懐かしく新しい空間の魅力を提示したことが高く評価された。見過ごされてしまいそうな小さな産業遺産に目を向け、現代の暮らしのなかで役割を見出して再生し、それらが地域の風景をつくっていく、という時間や分野を横断する生態学的な建築観の広まりが期待されている。

学生自治会企画イベント

夏祭り

今年で50回目を迎える夏祭りが7月31日に、セントラルスクエアをメイン会場として開催された。今年も、感染対策を講じつつ3年ぶりに盆踊りや模擬店を実施した。この他、中庭特設ステージでの音楽団体ライブイベントなどで盛り上がりを見せた。



体育祭

10月1日・2日に体育祭が開催された。1日目は陸上グラウンドにて玉入れ・リレーなどのスポーツ競技、2日目は初開催となる「e-sports」が、本館教室にて実施された。

両日とも秋晴れの下、参加した多くの学生が交流を深めることができた。



電子情報通信学会 委員長賞

電気電子通信工学科の平栗健史教授が7月15日、電子情報通信学会通信ソサイエティ・コミュニケーションシステム研究会において「コミュニケーションシステム研究会において「コミュニケーションシステム研究会委員長賞」を受賞した。今回の受賞は、5Gや将来の6Gに向けてドローンを移動中継局としたエリア拡大を実現する技術「6Gシステム」に向けた移動中継局を用いた新しい無線システムに関する研究発表となる。また、総務省によるSC OPE(戦略的情報通信研究開発推進事業)フェーズ1の研究課題として、新潟大学の故・西森健太郎准教授と取り組んできた研究成果である。受賞に際し平栗教授は「西森先生のご冥福をお祈りするとともに、本研究に関する皆さまにお礼を申し上げます」と謝辞を述べている。



謝辞を述べている。

電子情報通信学会 30周年企画特別功労賞

データサイエンス学科の伊藤暢彦准教授が7月22日、電子情報通信学会通信ソサイエティ・コミュニケーションシステム研究会において「コミュニケーションオリティア研究会30周年企画特別功労賞」を受賞した。同研究会は情報通信サービスとネットワーク品質の分野において通信工学、情報工学をメインに



受賞は「研究会設立30周年企画」の幹事としてその企画運営を積極的に行い、活性化に大きく貢献した実績が高く評価された。受賞に際し伊藤准教授は「本賞を受賞でき、大変光栄に存じます。研究会研専設立30周年企画に関わる皆様に御礼申し上げます」と謝辞を述べている。

自動車技術会 技術部門貢献賞

データサイエンス学科の荒川俊也教授が8月25日、自動車技術会2022年度技術会議合同会議において「技術部門貢献賞」を受賞した。技術部門貢献賞は、技術会議傘下の部門委員会活動において多大な貢献を認められた会員に贈られる賞で、部門委員会活動の活性化を図る目的で創設された。受賞に際し荒川教授は「今後も自動車技術会エレクトロニクス部門委員会の活性化に微力ながら貢献し、自動車業界を盛り立てて参ります」と抱負を述べている。



抱負を述べている。

若年者ものづくり競技大会 厚労大臣賞

建築学科建築コース2年の川嶋涼太さんが7月28日、厚生労働省・中央職業能力開発協会主催の第17回若年者ものづくり競技大会・建築大工部門において「金賞/厚生労働大臣賞」を受賞した。

本大会は企業等で未就業の原則20歳以下の若年者が技能を競う場。川嶋さんは他学生同様、学科の講義や実習などの授業に出席しながら、放課後など空き時間を利用して技能向上に励んできた。大会当日はその成果が大いに発揮され、高い評価を得ることができた。

また、昨年に続き技能五輪全国大会への出場が確定しており、上位入賞が期待されている。



賞状を授与された川嶋さん(右)



競技会で課題に取り組む川嶋さん

町り
代より
宮代
238号

宮代暮らしを一緒に
発信しませんか



町民の視点で町の魅力を町内外へ発信する「みんなが地域の特派員」メンバーを募集しています。写真を撮るのが好き、動画を作りたい、「宮代町が好き」な方ならどなたでも歓迎！「私のお気に入りの宮代町」を一緒に発信しましょう！

【主な活動】
●興味関心のあるイベントや出来事の取材・撮影・編集(動画・写真)
●情報交換会への参加
※記事に対する謝礼有り

【申問】
宮代町総務課秘書広報担当 34-11111
内線 208

部署名称変更

9月1日から事務組織改編に伴い、所掌する部署名称が次のとおり変更となった。

- 【変更前】企画広報室 ↓
- 【変更後】企画室
- 【変更前】教務部入試室 ↓
- 【変更後】教務部入試課

人事異動

【任命】(7月1日付)
◆理工学教育(STEM)センター長 佐藤杉弥教授
(10月1日付)
◆基幹工学部機械工学科長 二ノ宮進一教授
◆基幹工学部応用化学科長 大澤正久教授
◆先進工学部ロボティクス学科長 宮川豊美教授
◆先進工学部データサイエンス学科長 桑野文洋教授
◆工学部機械工学科長 二ノ宮進一教授
◆工学部創造システム工学科長 中里裕一教授
◆工学部電子情報メディア工学専攻長 佐藤進也教授

国外出張

◆中里裕一教授(ロボティクス学科) / 出張先 イタリア(9/5~9/12) / 目的 II 第4回(2022) IFTOM(M(機械工学分野の国際学術組織) ITALY国際会議における招待講演)
◆二ノ宮進一教授(機械工学科) / 出張先 アメリ力(9/10~9/19) / 目的 IIMTS2022(米国国際製造技術展)への日本工作機械工業会からの調査依頼への対応